

研究課題:共感的配慮が利他行動に果たす役割:損失可能性のある独裁者ゲームを用いた実験研究

研究課題/領域番号:22K20301

研究種目:研究活動スタート支援

研究代表者:山本 佳祐 京都文教大学, 総合社会学部, 講師

(概要)

本研究の目的は、匿名下で利他行動が生起する理由として評判に基づく説明の限界点を明確にし、共感的配慮が利他行動の生起を促していることを明らかにすることである。先行研究では、第1に視点取得による共感的配慮の操作が頑健でなく再現性の問題を抱えていた。第2に利他行動の指標である従来の独裁者ゲーム（参加者が他者にお金を分ける実験）では、他者の困窮状態に関する設定がないゆえに、“利他行動”を測定できても、共感的配慮に基づく“利他的な心”を測定できていない懸念点があった。そこで本研究は、他者の困窮状態を変化させるという共感的配慮のより強力な操作方法を新たに考案し、この操作を独裁者ゲームに組み込むことで共感的配慮が利他行動の生起に果たす役割を明らかにする。